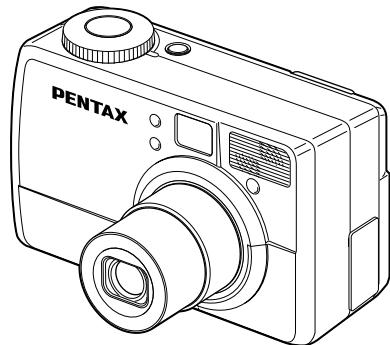
PENTAX™

デジタルカメラ

Optio 330

使用説明書

カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラOptio 330をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また、本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

Optio 330を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

CompactFlash、コンパクトフラッシュ および CFはSanDisk Corporationの商標です。
PENTAXは旭光学工業株式会社の登録商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
USBドライバはPhoenix Technologies社のソフトウェアを使用しています。
PRINT Image Matchingは、「デジタルカメラの色情報に関するPrint Command、PRINT Image Matching」に従った製品であることを示しています。
PRINT Image Matchingの仕様書Version 1.0に対する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

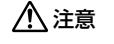
ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

警告

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ＡＣアダプタは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のＡＣアダプタをご使用になったり、専用のACアダプタを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- ＡＣアダプタ使用時に雷が鳴り出したら、使用を中止してください。感電の恐れがあります。

注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解や充電をしないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部位があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。

取り扱い上の注意

- 長期間使用しなかったときや、大切な撮影(結婚式、旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失など)については、保証しかねます。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでご注意ください。
- 防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかるところでは使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- 約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴を生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- コンパクトフラッシュメモリカード（CFカード）の取り扱いについては「CFカード使用上の注意」(p.15)をご覧ください。

目次

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

●準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行なってください。

●クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。

●共通操作

モードダイヤルや各ボタンの機能、メニューの使い方など、共通の操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「再生・消去」「設定」の各章をご覧ください。

●撮影

さまざまな撮影方法や、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

●再生・消去

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかたを説明しています。

●設定

カメラに関する機能の設定方法について説明しています。

●付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

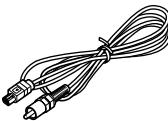
●操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

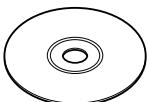
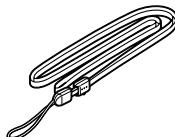
記号	意味
☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

同梱品の確認

本体
(Optio 330)

リチウムイオンバッテリー
（D-LI2）

バッテリー充電器キット
（K-BC2J）

ビデオケーブル
（I-VC2）

USBケーブル
（I-USB2）

ソフトウェアCD-ROM
（S-SW2）

ストラップEO

使用説明書（本書）

各部の名称

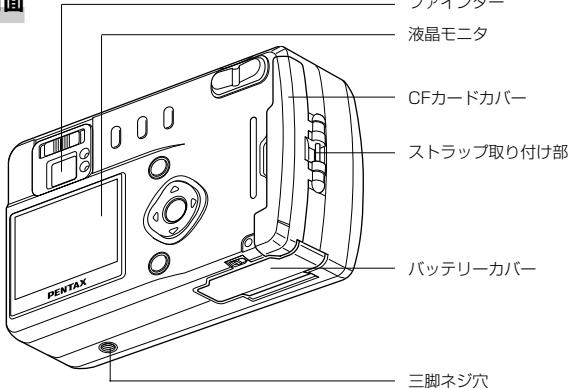
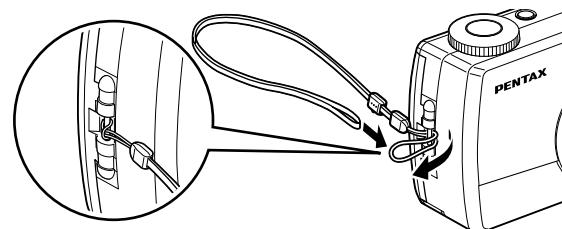
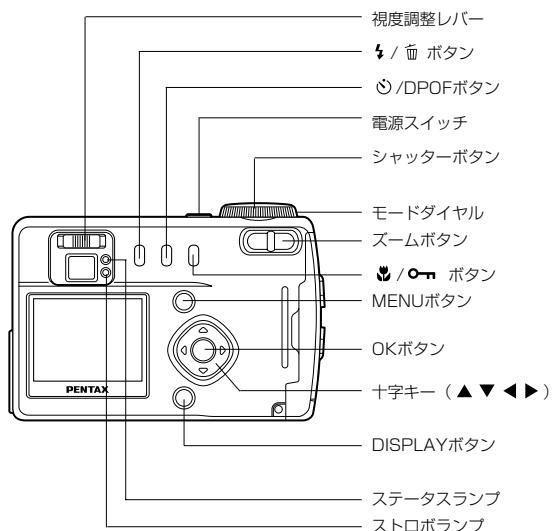
前面

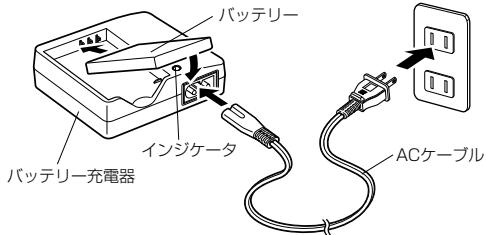
背面

操作部の名称

●ガイド表示について

操作中は液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。
ガイド表示では、ボタンは次のように表されます。

十字キー（▲）	▲	ズームボタン	
十字キー（▼）	▼	DISPLAYボタン	DISP
十字キー（◀）	◀	DPOFボタン	DP
十字キー（▶）	▶	ボタン	
MENUボタン	MENU	ボタン	
OKボタン	OK	シャッターボタン	SHUTTER

ストラップを取り付ける

ストラップの細い紐を、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する

バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや、「バッテリー容量が無くなりました」というメッセージが表示されたときは、バッテリーを充電してください。

1 バッテリー充電器にACケーブルを接続します。

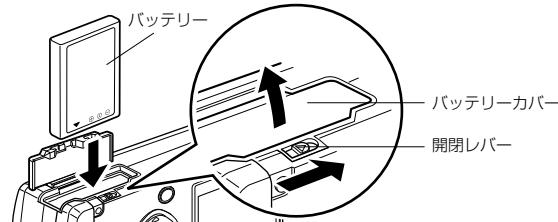
2 ACケーブルをコンセントに差し込みます。

3 バッテリーをラベルが下向きになるようにセットします。

充電中はチャージインジケータが赤色に点灯します。
充電が完了すると、チャージインジケータが緑色に点灯します。

4 充電終了後、バッテリー充電器からバッテリーを取り出します。

- 充電時間は、約120分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- バッテリーの寿命がくると、正しい充電を行なっても使用できる時間が短くなります。新しいバッテリーと交換してください。

- お買い上げ時や長期間使わなかったバッテリーはご使用になる前に、必ず充電してください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーD-LI2以外のバッテリーは充電しないでください。
- 正しい向きにバッテリーをセットしてもインジケータランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。

バッテリーをセットする

同梱のバッテリーをセットします。はじめてご使用になるときは、バッテリーを充電してからセットしてください。

1 開閉レバーを矢印の方向に押し、バッテリーカバーを開けます。

2 バッテリーのラベルをカメラ背面側に向けて、挿入します。

3 バッテリーカバーを閉じます。

長時間ご使用になるときは、ACアダプタキット（K-AC2J、別売）をご使用ください。（☞p.13）

- 電源スイッチがオンのときは、バッテリーカバーを開けたり、バッテリーを取り出したりしないでください。
- カメラを長期間使用しない場合は、バッテリーを取り出した状態で保管してください。
- バッテリーを長期間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。
- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。

●使用時間の目安（フル充電時）

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニタオン	液晶モニタオフ	
ストロボ使用率50%	約150枚	約190枚	約75分
ストロボ使用しない	約190枚	約265枚	

* この数値は、当社の測定条件によるものです。撮影モード、撮影状況により異なります。

使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低くなることがあります。

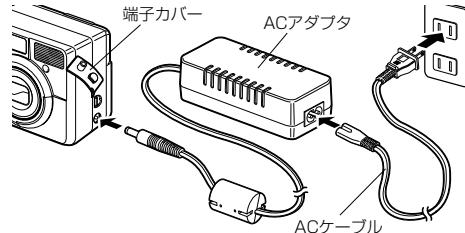
●バッテリーの残量表示

液晶パネルに表示された ▮▮▮ で、バッテリーの残量を確認できます。

▮▮▮（緑点灯）	：	バッテリーがまだ十分に残っています。
↓		
▮▮（緑点灯）	：	少し減った状態
↓		
▮（黄点灯）	：	だいぶ減った状態
↓		
□（赤点灯）	：	残量がほとんどありません。
↓		
「バッテリー容量がなくなりました」	：	メッセージの表示後、電源オフとなります。

●リサイクルについて

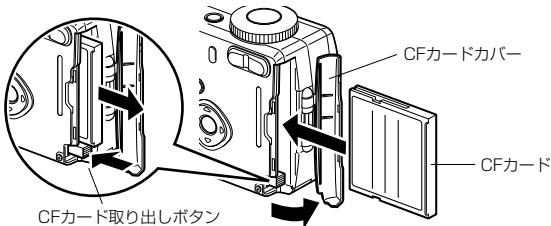
Li-ion

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池の廃棄に際しては、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

ACアダプタを使用する

液晶モニタを長時間ご使用になるときや、コンピュータと接続するときは、ACアダプタキット（K-AC2J、別売）のご使用をおすすめします。

1. **ACアダプタにACケーブルを接続します。**
2. **ACケーブルをコンセントに差し込みます。**
3. **端子カバーを開き、DC端子を接続します。**

・ACアダプタを接続するときは、必ずカメラの電源を切った状態で行なってください。
・ACアダプタをご使用になるときは、ACアダプタキット・K-AC2Jの使用説明書をあわせてご覧ください。

準備

CFカードをセットする

撮影した画像は、コンパクトフラッシュ（CF）カードに記録されます。CFカード（別売）をセットするときは、必ず電源をオフにしてください。

セットする

1 CFカードカバーを開けます。
2 CFカードの▲面をレンズ側に向けて、奥まで押し込みます。
3 CFカードカバーを閉じます。

取り出す

1 CFカードカバーを開けます。
2 CFカード取り出しボタンを押し、CFカードを取り出します。
3 CFカードカバーを閉じます。

電源がオンのときに、CFカードカバーを開けると、強制的に電源オフになります。

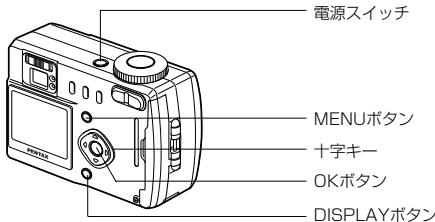
●撮影可能枚数と記録サイズ/画質の目安

記録サイズ＼画質	S.ファイン/ ★★★	ファイン/ ★★	エコノミー/ ★
2048 × 1536	約10枚	約13枚	約26枚
1024 × 768	約40枚	約53枚	約94枚
640 × 480	約106枚	約160枚	約228枚

・この数値は、16MBのCFカードを使用した場合の枚数です。
・この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するCFカードなどにより変わります。

CFカード使用上の注意

・CFカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源を切った状態で行なってください。
・カメラ使用直後にCFカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
・CFカードへのデータ記録中や、他の機器との通信中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
・CFカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
・未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「CFカードをフォーマットする」（p.72）をご覧ください。
・CFカードのフォーマット中は、絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
・CFカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  ・使用者がCFカードの取り扱いを誤ったとき
  ・CFカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  ・長期間カードを使用しなかったとき
  ・CFカードアクセス中に（ステータスランプとストロボランプが、緑と赤に点滅しているときに）、カードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
・CFカードには寿命があります。長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
・静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
・急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。

初期設定をする

はじめてカメラの電源を入れると、日時を設定する画面が表示され、現在の日付と時刻を設定します。ここで設定した日時がホームタイム日時になります。設定した内容は保存されます。
なお、カメラの電源を入れたときに、液晶モニタの右下に日付の表示がでる場合があります。このときは、p.73の「日付/時刻を変更する」をご覧になり、日時の設定を行ってください。

1 電源スイッチを押します。

電源がオンになり、液晶モニタに日時設定画面が表示されます。

2 十字キー（▲ ▼）を押して、西暦年を変更します。

3 十字キー（▶）を押します。

「月」の上下に ▲ ▼ が表示されます。

4 十字キー（▲ ▼）で月を変更し、十字キー（▶）を押します。

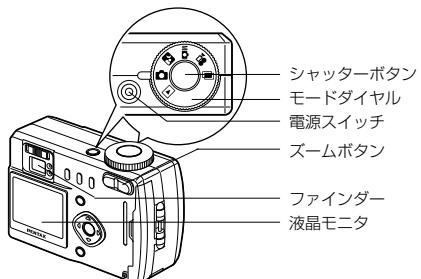
「日」の上に ▲ ▼ が表示されます。

5 4を繰り返して、「日」「時」「分」を変更します。

6 DISPLAYボタンで「12時間/24時間表示」を切り替えます。

7 設定が終了したら、時報と同時にOKボタンを押します。

設定内容を確認する画面が表示され、撮影できる状態になります。

ここで設定した内容は、変更ができます。操作方法は「日付/時刻を変更する」（p.73）をご覧ください。

静止画を撮影する

一番簡単に静止画を撮影します。ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1 電源スイッチを押します。

電源がオンになります。

2 モードダイヤルを 📷 に合わせます。

3 撮るものをファインダーに入れます。

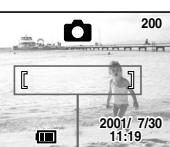
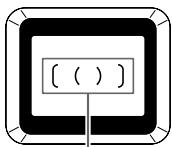
フォーカスフレーム

ファインダー中央のフォーカスフレームの中が、自動でピントが合う範囲です。
ズームボタンを押すと被写体の大きさが変わります。

- 被写体が大きく写ります。
- 被写体が小さく写ります。

フォーカスフレーム

●液晶モニタを見ながら撮影するには

液晶モニタがオンのときは、液晶モニタを見ながら撮影ができます。

ピントを合わせる範囲や位置を変える ☞ p.41、48
ストロボを自動的に発光しないようにする ☞ p.43
撮影時の情報を表示する ☞ p.30

4 シャッターボタンを押します。

撮影した画像が液晶モニタに0.5秒間表示されます（クイックビュー）。撮影した画像は、CFカードに保存されます。レンズに写っている画像が液晶モニタに表示されると、次の撮影ができます。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは2段階になっています。

●半押し

シャッターボタンを軽く押すと（半押し）ピント情報、露出、ホワイトバランスがロックされます。液晶モニタに次の情報が表示されます。

① **ピント合わせが行われる範囲（AFエリア）**
ピントが合うと枠が緑色に点灯します。ピントが合っていないときは、赤色に点灯します。

② **ストロボマーク**
シャッターを切るときのストロボの発光状態を表示します。

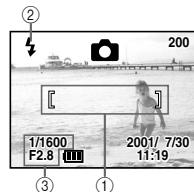
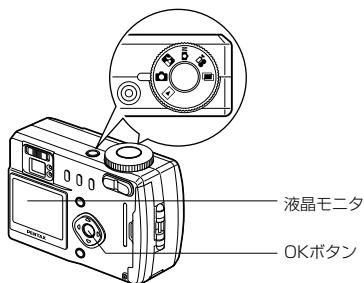
③ **絞り値、シャッター速度**
正常なときは、白色で表示します。露出オーバー、または露出アンダーのときは、オレンジ色で表示します。

●全押し

半押しの状態からシャッターボタンを押し切ると、撮影されます。

クイックビュー

クイックビューは、初期の設定では0.5秒間表示されます。この間に画像を消去することができます。

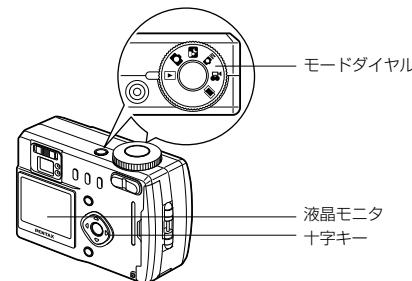
クイックビュー画面の表示時間を変える ☞ p.50
画像を消去する ☞ p.58

静止画を再生する

最後に撮影した画像を再生する（ワンタッチビュー）

最後に撮影した静止画を再生します（ワンタッチビュー）。

1 撮影後にOKボタンを押します。

最後に撮った画像が液晶モニタに表示されます。この間に画像を消去することができます。

再度OKボタンを押すと、撮影できる状態に戻ります。

画像を消去する ☞ p.58

撮った画像を一枚ずつ再生する

撮影した静止画を一枚ずつ再生します。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせます。

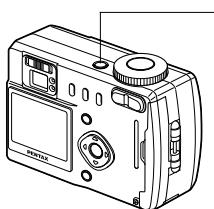
撮った画像が液晶モニタに表示されます。

2 十字キー（◀ ▶）を押します。

前の画像が表示されます。

次の画像が表示されます。

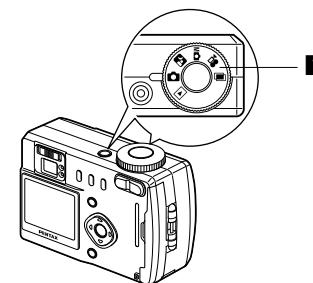
動画は、１コマ目の画像が表示されます。

電源をオン／オフする

電源スイッチのオン／オフを切り替えます。

1 電源スイッチを押します。

電源がオンになります。

再度電源スイッチを押すと、電源がオフになります。

モードを切り替える

撮影ができる状態を撮影モード、再生や消去ができる状態を再生モードといいます。モードダイヤルで切り替えます。

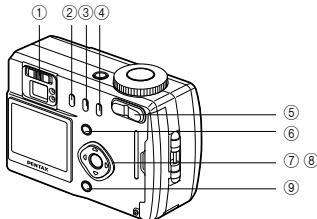
撮影モード

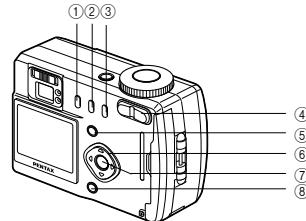
(カメラ)	オートモード	ほとんどの設定をカメラにまかせて撮影します。	p.18,31
(夜景)	夜景モード	夜景など暗いシーンを撮影します。	p.31
M(カメラ)	マニュアルモード	絞り、シャッター速度をマニュアルで設定して撮影します。	p.32
(動画)	動画モード	動画を撮影します。	p.38
(多重露出)	多重露出モード	撮影済みの画像に合成する写真を撮影します。	p.34

再生モード

▶	再生モード	撮った画像を再生します。	p.53

1 モードダイヤルを回して、指標に (カメラ) (夜景) M(カメラ) (動画) (多重露出) ▶ を合わせます。

ボタンの機能を使用する

撮影モード時

①視度調整レバー
　ファインダーを視力にあわせて調整します。（☞ p.39）
② ⚡ ボタン
　ストロボの発光方法を切り替えます。（☞ p.43）
③ ⏲ ボタン
　撮影方法を次のように切り替えます。
　　セルフタイマー撮影（☞ p.36）
　　リモコン撮影（☞ p.37）
　　連続撮影（☞ p.35）
　　* 撮影モードが 🎥 ▭ のときは、連続撮影はスキップされます。
④ 🌷 ボタン
　フォーカスモードを切り替えます。（☞ p.41）
⑤ズームボタン
　被写体の大きさを変えます。（☞ p.40）
⑥MENUボタン
　撮影モードで設定できるメニューを表示します。（☞p.28,29）
⑦十字キー（◀ ▶）
　📷 🖼 🎥 ▭ モードで露出補正をします。（☞ p.42）
　M📷 モードでシャッター速度を切り替えます。（☞ p.32）
⑧十字キー（▲ ▼）
　MF モードでピントを合わせます。（☞ p.41）
⑨DISPLAYボタン
　液晶モニタに表示される情報を切り替えます。（☞ p.30）

再生モード時

① 🗑 ボタン
　画像を消去します。（☞ p.58）
② DPOFボタン
　プリントサービスのための設定をします。（☞ p.61）
③ O‒π ボタン
　画像を消去できないようにします。（☞ p.60）
④ズームボタン
　液晶モニタに表示される画像の大きさを変えます。（☞ p.53）
⑤MENUボタン
　再生モードで設定できるメニューを表示します。（☞ p.29）
⑥十字キー（◀ ▶）
　画像を一枚ずつ表示します。（☞ p.21）
⑦OKボタン
　一度に9画像を表示します。（☞ p.56）
⑧DISPLAYボタン
　液晶モニタに表示される情報を切り替えます。（☞ p.55）

共通操作

MENUを使用する

MENUボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。撮影モード（　　　　　）では、撮影のための機能が設定できます。再生モード（▶）では、再生のための機能が設定できます。また、カメラに関する機能は、撮影モード、再生モードの両方で設定できます。

メニューの操作方法

メニュー操作中は、液晶モニタにガイドが表示されます。

1 MENUボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。選択されている部分は緑の四角枠で示されます。

十字キー（◀ ▶）でメニュー画面が切り替わります。

2 十字キー（▼）を押します。

選択枠がメニュー項目に移動します。

3 十字キー（▲ ▼）で項目を選択します。

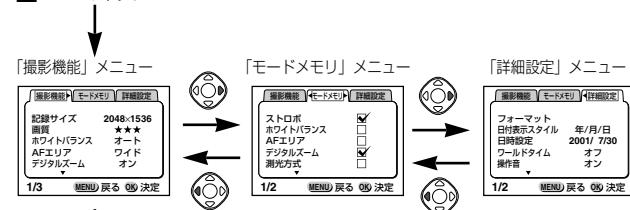
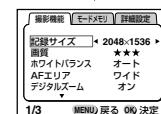
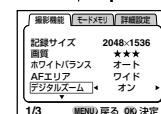
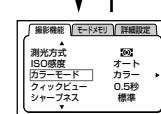
十字キー（▲ ▼）で選択枠が上下に移動します。

4 十字キー（◀ ▶）で設定を切り替えます。

4′ または、選択画面があるときは、十字キー（▶）で選択画面に移行します。

選択画面では、液晶モニタにボタン操作のガイドが表示されます。設定が終了したら、OKボタンでメニュー画面に戻ります。

5 OKボタンを押します。

設定が保存され、撮影または再生できる状態に戻ります。

再生モードでMENUボタンを押すと再生モードのメニュー画面が表示されます。十字キー（◀ ▶）を押すと、「再生機能」メニューと「詳細設定」メニューが切り替わります。

メニュー一覧

撮影モードで設定できるメニュー

●「撮影機能」メニュー

項目	内容	初期値	参照
記録サイズ	画像の解像度が選べます	2048 x 1536	p.44
画質	画像の圧縮率が選べます	★★	p.45
ホワイトバランス	照明に合わせて色を調整します	オート	p.46
AFエリア	オートフォーカスの対象になる範囲や位置を変更します	ワイド	p.48
デジタルズーム	デジタルズーム撮影ができます	オン	p.40
測光方式	露出を決定する測光方式を設定します		p.49
ISO感度	ISO感度を設定します	オート	p.49
カラーモード	カラーモードを選択します	カラー	p.50
クイックビュー	クイックビューの時間を設定します	0.5秒	p.50
シャープネス	シャープネスを設定します	標準	p.51
彩度	彩度を設定します	標準	p.51
コントラスト	コントラストを設定します	標準	p.51

●「モードメモリ」メニュー

電源をオフにしたときに、撮影のために設定した値をメモリ（保存）するかどうかを選びます。
設定できる項目はp.52をご覧ください。

再生モードで設定できるメニュー

●「再生機能」メニュー

項目	内容	初期値	参照
スライドショー	保存された画像を連続して再生します	3秒間隔	p.57
アラーム	指定した時刻にアラームを鳴らします	オフ	p.79

撮影モード/再生モードで設定できるメニュー

●「詳細設定」メニュー

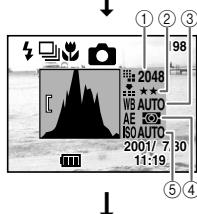
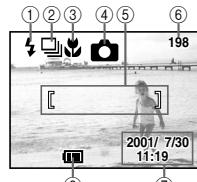
項目	内容	初期値	参照
フォーマット	CFカードをフォーマットします		p.72
日付表示スタイル	日付の表示形式を設定します	年／月／日	p.73
日時設定	日付/時刻を設定します	初期設定で指定した日時	p.73
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します	TYO	p.74
操作音	ボタン操作時の音を調節します	オン	p.75
Language/言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます	日本語	p.76
ビデオ出力	ビデオの出力方式を設定します	NTSC	p.76
スリープ	節電機能を設定します	1分	p.77
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるようにします	3分	p.77
リセット	設定を初期値に戻します		p.78

撮影情報を表示する（DISPLAYモード）

撮影情報を液晶モニタにオーバーレイ表示できます。DISPLAYボタンで表示される情報を切り替えます。

DISPLAYオン

撮影情報を表示します。

①ストロボ　②撮影方法
③フォーカスモード　④撮影モード
⑤AFフレーム　⑥撮影可能残量
⑦日時　⑧バッテリーマーク

ヒストグラム表示

明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

①記録サイズ　②画質
③ホワイトバランス
④測光方式　⑤ISO感度

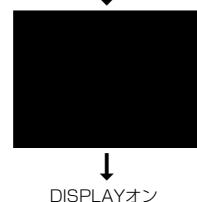
DISPLAYオフ

撮影情報を表示しません。

・バッテリー残量に変化があったときは、バッテリー残量を表示します。

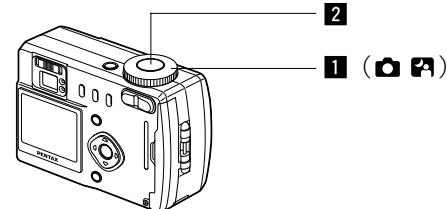
・マニュアルモードのときは、絞り値とシャッター速度を表示します。

液晶モニタオフ

液晶モニタをオフにします。

DISPLAYオン

DISPLAYモードを保存する ☞ p.52

注意　動画モードでは、DISPLAYオフや液晶モニタオフは設定できません。

撮影する

オートモードで静止画を撮影する（オートモード）

モードダイヤルを📷に合わせると、ほとんどの設定をカメラにまかせて撮影できます。

1 モードダイヤルを📷に合わせます。

2 シャッターボタンを押します。

撮影されます。

暗いシーンを撮影する（夜景モード）

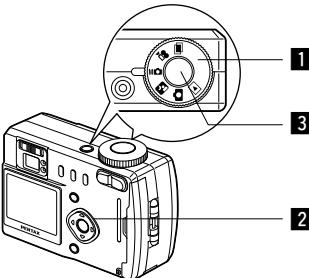
夜景など暗いシーンを撮影するのに適切な設定に自動的にセットされます。

1 モードダイヤルを夜景に合わせます。

2 シャッターボタンを押します。

撮影されます。

再生する ☞ p.53

注意
・暗い所では、シャッター速度が遅くなりますので、手ぶれにご注意ください。
・夜景モードでは、連続撮影はできません。

マニュアルで設定して撮影する（マニュアルモード）

シャッター速度と絞りを手動で設定して撮影できます。

1 モードダイヤルをM に合わせます。

2 十字キーでシャッター速度と絞り値を切り替えます。

十字キー（▶）
　シャッター速度が遅くなります。
十字キー（◀）
　シャッター速度が速くなります。
十字キー（▲）
　絞りが明るくなります。
十字キー（▼）
　絞りが暗くなります。

絞り値　シャッター速度

設定したシャッター速度と絞り値の組み合わせが適正露出でない場合は、警告が表示されます。

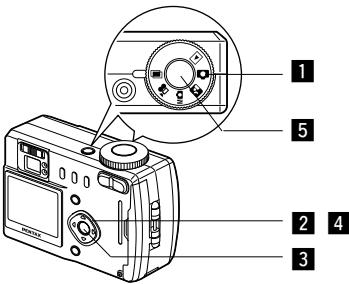
（点灯）	適正露出との差が－2.0EV～－0.3EVの場合は 、＋0.3EV～＋2.0EVの場合は が点灯し、数値が表示されます。
（点滅）	露出アンダーまたは測定不能の場合は 、露出オーバーの場合は が点滅します。

3 シャッターボタンを押します。

設定したシャッター速度と絞り値で撮影されます。

再生する ☞ p.53

シャッター速度と絞り値は、電源をオフにしても保存されます。

- このモードでは、露出補正はできません。
- フォーカス方法をマニュアルフォーカスに設定していると、十字キー（▲ ▼）は手動ピント合わせボタンになっているので、絞り値を切り替えることはできません。
- ストロボの発光方法で「オート」と「オート＋赤目軽減」は選択できません。

撮影した画像の上に撮影する（多重露出モード）

撮影済みの画像の上に、新たに撮影した画像を合成します。

1 モードダイヤルを 🞐 に合わせます。

最後に撮影した画像が再生されます。

2 十字キー（◀ ▶）で合成する写真を選びます。

3 OKボタンを押します。

4 十字キー（▲▼）で露出方法を選びます。

露出方法

- 明るい画像を優先します。
- 暗い画像を優先します
- 平均化します。

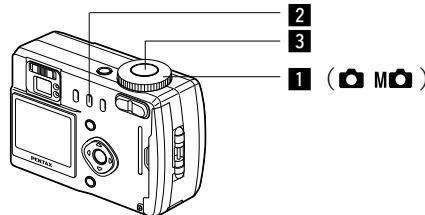
5 シャッターボタンを押します。

クイックビュー画面が表示された後、「続けて撮影しますか。」とメッセージが表示されます。

「続けて撮影」を選択しOKボタンを押すと、直前に合成した写真が再生され、さらに写真が合成できる状態になります。

合成された写真は、新たに保存されます。

再生する ☞ p.53

- 動画の上には合成できません。
- 多重露出モードでは、連続撮影はできません。
- 多重露出モードでは、液晶モニタをオフにできません。

連続して撮影する（連続撮影）

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 モードダイヤルを 📷 M📷 に合わせます。

2 ⏲ ボタンを3回押します。

連続撮影モードに切り替わります。

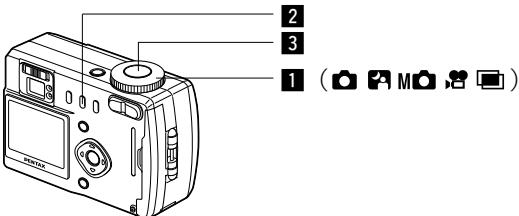
3 シャッターボタンを押します。

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。

シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

再生する ☞ p.53

- CFカードの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 夜景モード、動画モード、多重露出モードでは、連続撮影はできません。
- マニュアルモード（M📷）では、シャッター速度を1秒以下にすると、連続撮影はできません。

セルフタイマーを使って撮影する

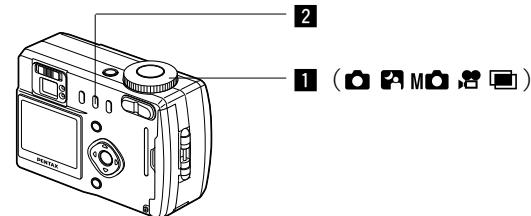
シャッターボタンを押してから、10秒後に撮影します。

1 モードダイヤルを M に合わせます。

2 ボタンを押します。

3 シャッターボタンを押します。

セルフタイマーが起動し、セルフタイマーランプが点灯します。セルフタイマーランプが点滅をはじめてから約3秒後に撮影されます。

再生する ☞ p.53

リモコンを使って撮影する（別売）

ワイヤレスリモコン（別売）を使って撮影します。

1 モードダイヤルを M に合わせます。

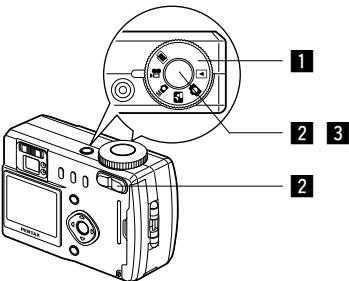
2 ボタンを2回押します。

セルフタイマーランプが点滅し、リモコンで撮影できる状態になります。

3 リモコンのシャッターボタンを押します。

セルフタイマーランプが早い点滅に変わり、約3秒後に撮影されます。

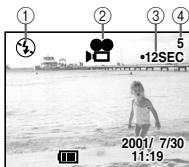
再生する ☞ p.53

・本体のボタンは、通常と同じように操作できます。
・リモコンの届く距離は、約5m程度です。

動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。一度で撮影できる時間は、最長30秒です。

1 モードダイヤルを 🎥 に合わせます。

液晶モニタに次の情報が表示されます。

① 発光禁止アイコン
② 動画モードアイコン
③ 残り撮影可能時間
④ 残りセット数

2 シャッターボタンを押します。

撮影が開始されます。

ズームボタンで画像の大きさを切り替えることができます。

- 画像が大きくなります。
- 画像が小さくなります。

3 シャッターボタンを押します。

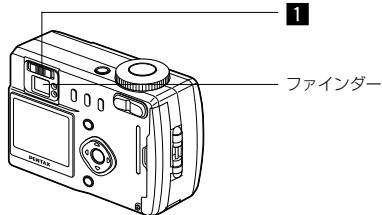
撮影が終了します。

●シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを１秒以上押し続けると、撮影が開始し、シャッターボタンを離すと撮影が終了します。

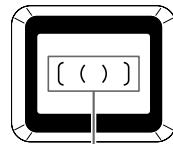
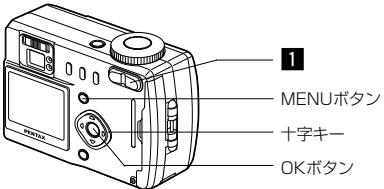
再生する ☞ p.53

・動画モードでは、ストロボは発光しません。
・動画モードでは、連続撮影はできません。
・動画モードでは、液晶モニタをオフにできません。

撮影のための機能を設定する

ファインダーを視力に合わせる

ファインダー内の表示が見えにくいとき、視度を調整します。視度は−3m⁻¹〜＋1m⁻¹（毎メートル）（3mにおいて）の範囲で調節できます。

1 カメラを明るい方に向け、ファインダーをのぞきながら視度調整レバーを左右に動かします。

ファインダーの中のフォーカスフレームが最もはっきり見える位置に調整します。

フォーカスフレーム

被写体の大きさを変える

撮影する範囲を望遠／広角に調整できます。

1 撮影モードでズームボタンを押します。

被写体が大きく写ります。

被写体が小さく写ります。

デジタルズーム機能がオフのときは、3倍までのズーム撮影ができます。

デジタルズーム機能がオンのときは、ズームが最も望遠側にあるときにズームボタンのを押すと、さらに拡大して撮影できます。（デジタルズーム使用時、最大6倍相当）

デジタルズーム機能をオンにする

1 撮影モードでMENUボタンを押します。

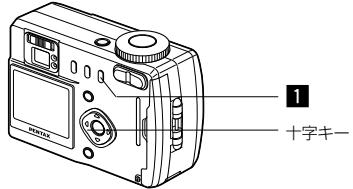
「撮影機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▼）を5回押して、「デジタルズーム」を選びます。

3 十字キー（◀ ▶）でオンとオフを切り替えます。

4 OKボタンを押します。

撮影できる状態に戻ります。

デジタルズーム機能のオン／オフを保存する ☞ p.52

フォーカスモードを選択する

なし	オート	シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
🌷	マクロモード	被写体までの距離が約14cm～50cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにあるものにピントを合わせます。
▲	遠景モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。

1 撮影モードで 🌷 ボタンを押します。

押すたびにフォーカスモードが切り替わり、設定値が液晶モニタに表示されます。
設定したフォーカスモードで撮影ができます。

電源をオフにするとフォーカスモードは「オート」に戻ります。

フォーカスモードを「マクロモード」に設定しているときは、ファインダーを見ながら撮影すると、撮影範囲がずれることがあります。

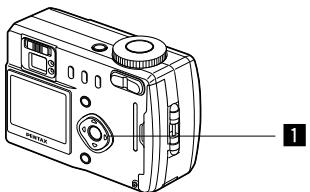
マニュアルで設定する

MF に設定したときは、手動でピントを合わせます。

十字キー（▲）フォーカス位置が遠くなります。

十字キー（▼）フォーカス位置が近くなります。

マニュアルフォーカス位置を保存する ☞ p.52

撮影

露出補正をする

背景と被写体との間に極端な明暗差があるときに露出補正をします。

1 撮影モードで十字キー（◀ ▶）を押します。

十字キー（▶）
露出をプラス方向に設定します。
十字キー（◀）
露出をマイナス方向に設定します。

露出補正値

設定した値が液晶モニタに表示されます。

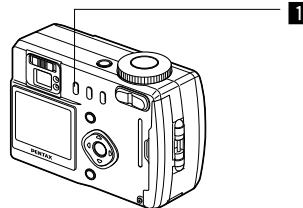
注意　マニュアルモードでは、露出補正はできません。

シャッター速度を変える

「マニュアルで設定して撮影する（マニュアルモード)」(p.32）をご覧ください。

絞り値を変える

「マニュアルで設定して撮影する（マニュアルモード)」(p.32）をご覧ください。

撮影

ストロボの発光方法を選択する

なし	オート	明るさに応じて自動的にストロボを発光します。
	発光禁止	ストロボを発光しません。
	強制発光	明るさにかかわらず常にストロボを発光します。
	オート＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 自動的にストロボを発光します。
	強制発光＋赤目軽減	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボを発光します。

* 撮影モードが にセットされているか、連続撮影、または遠景モードに設定されているときは、常に発光禁止になります。
* 撮影モードが M のときは、「オート」と「オート＋赤目軽減」は選択できません。
* 「オート＋赤目軽減」、または「強制発光＋赤目軽減」では、撮影の前にストロボがプリ発光します。

1 撮影モードで ボタンを押します。

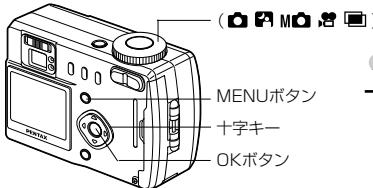
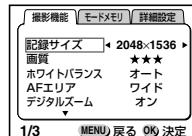
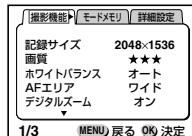
押すたびに発光方法が切り替わり、設定値が液晶モニタに表示されます。

充電中はストロボランプが赤色に点滅します。充電が完了すると、シャッターボタンを半押ししている間赤色に点灯します。

設定したストロボ発光方法で撮影ができる状態になります。

ストロボ発光方法を保存する ☞ p.52

撮影

「撮影機能」メニューの呼び出しかた

解像度を選択する（記録サイズ）

画像の解像度を「2048 × 1536」「1024 × 768」「640 × 480」から選べます。

1. 「撮影機能」メニューの「記録サイズ」を選びます。
2. 十字キー（◀ ▶ ）で記録サイズを切り替えます。
3. OKボタンを押します。

   撮影ができる状態になります。

画質を選択する（画質）

画像の圧縮率が選べます。

★★	ファイン	標準画質
★★★	S.ファイン	画質はきれいになります。画像の容量は大きくなります。
★	エコノミー	画質は粗くなります。画像の容量は小さくなります。

1. 「撮影機能」メニューの「画質」を選びます。
2. 十字キー（◀ ▶ ）で画質を切り替えます。
3. OKボタンを押します。

   撮影ができる状態になります。

撮影

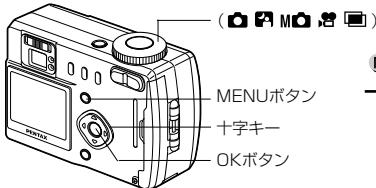
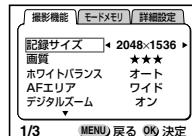
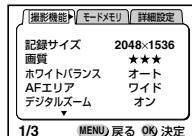
「撮影機能」メニューの呼び出しかた

（📷 🎬 MODE 📷 🎥 ▣）
MENUボタン
十字キー
OKボタン

MENU →

撮影機能	モードメモリ	詳細設定
記録サイズ	2048×1536	
画質	★★★	
ホワイトバランス	オート	
AFエリア	ワイド	
デジタルズーム	オン	
1/3	MENU 戻る	OK 決定

→

撮影機能	モードメモリ	詳細設定
記録サイズ	◂ 2048×1536 ▸	
画質	★★★	
ホワイトバランス	オート	
AFエリア	ワイド	
デジタルズーム	オン	
1/3	MENU 戻る	OK 決定

照明に合わせて色を調整する（ホワイトバランス）

光の状態に応じて設定すると、適正な写真の色に撮影できます。

オート/AUTO	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに使います。
日陰アイコン	日陰	日陰で撮影するときに使います。
白熱灯アイコン	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに使います。
蛍光灯アイコン	蛍光灯	蛍光灯で照明されたものを撮影するときに使います。
マニュアル/	マニュアル	手動で調整して撮影するときに使います。

1 **「撮影機能」メニューの「ホワイトバランス」を選びます。**

2 **十字キー（▶）を押します。**

ホワイトバランス選択画面が表示されます。

ホワイトバランス
オート
マニュアル
MENU 戻る OK 決定

3 **十字キー（▲▼）で設定を切り替えます。**

4 **OKボタンを2回押します。**

撮影ができる状態になります。

ホワイトバランスを保存する ☞ p.52

マニュアルで設定する

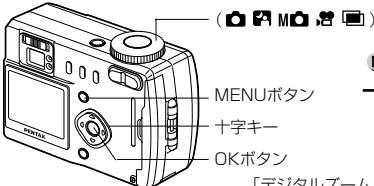
1 **ホワイトバランス選択画面で「マニュアル」を選びます。**

2 **シャッターボタンを押します。**

ホワイトバランスが自動調整され、液晶モニタに「完了」と表示してメニュー画面に戻ります。

調整するときは、白い紙等を画面いっぱいに入れて、シャッターボタンを押してください。

3 **OKボタンを押します。**

撮影ができる状態になります。

撮影

「撮影機能」メニューの呼び出しかた

MENUボタン
十字キー
OKボタン

「デジタルズーム」についてはp.40をご覧ください。

AFエリアを変更する（AFエリア）

オートフォーカスの対象になる範囲や位置を変更できます。

ワイド	通常範囲
スポット	範囲を狭くします。
移動	オートフォーカスの対象になる位置を変更できます。

1. **「撮影機能」メニューの「AFエリア」を選びます。**
2. **十字キー（▶）を押します。**
   AFエリア選択画面が表示されます。
3. **十字キー（▲▼）で設定を切り替えます。**
4. **OKボタンを2回押します。**
   撮影ができる状態になります。

位置を変える

1. **AFエリア選択画面で「移動」を選びます。**
2. **十字キー（▶）を押します。**
3. **十字キーでAFエリアを移動させます。**
4. **OKボタンを3回押します。**
   撮影ができる状態になります。

- AFエリアの移動場所によっては、撮影時にフォーカスフレームがモードアイコンなどと重なって見えにくくなる場合があります。DISPLAYモードをオフにしてください。(p.30)
- AFエリアを移動させたときは、AFエリアの位置はファインダーでは確認できません。液晶モニタで確認しながら撮影してください。

AFエリアを保存する ☞ p.52

露出を決定する測光範囲を設定する（測光方式）

(分割アイコン)	分割	画面全体で露出を決定します。
(中央部重点アイコン)	中央部重点	主に画面の中央で露出を決定します。
(スポットアイコン)	スポット	画面の中央のみで露出を決定します。

1. **「撮影機能」メニューの「測光方式」を選びます。**
2. **十字キー（◀▶）で測光方式を切り替えます。**
3. **OKボタンを押します。**
   撮影ができる状態になります。

測光方式を保存する ☞ p.52

ISO感度を設定する（ISO感度）

オート/AUTO	設定をカメラにまかせます。
100	露出時間が長くなります。
200	露出時間が短くなります。

1. **「撮影機能」メニューの「ISO感度」を選びます。**
2. **十字キー（◀▶）でISO感度値を切り替えます。**
3. **OKボタンを押します。**
   撮影ができる状態になります。

ISO感度を保存する ☞ p.52

「撮影機能」メニューの呼び出しかた

( ) MENUボタン 十字キー OKボタン

MENU

撮影機能	モードメモリ	詳細設定
記録サイズ	2048×1536	
画質	★★★	
ホワイトバランス	オート	
AFエリア	ワイド	
デジタルズーム	オン	

1/3 MENU 戻る OK 決定

6回

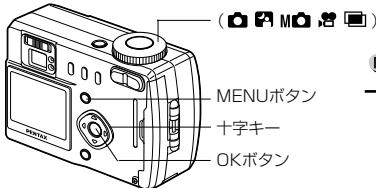
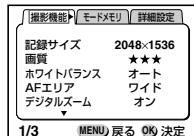
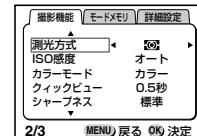
撮影機能	モードメモリ	詳細設定
測光方式		
ISO感度	オート	
カラーモード	カラー	
クイックビュー	0.5秒	
シャープネス	標準	

2/3 MENU 戻る OK 決定

5回

撮影機能	モードメモリ	詳細設定
彩度	標準	
コントラスト	標準	

3/3 MENU 戻る OK 決定

カラーモードを選択する（カラーモード）

カラー	カラーで撮影します。
白黒	白黒で撮影します。
セピア	セピアで撮影します。

1 「撮影機能」メニューの「カラーモード」を選びます。

2 十字キー（▶）を押します。

カラーモード選択画面が表示されます。

3 十字キー（▲▼）で設定を切り替えます。

4 OKボタンを2回押します。

撮影ができる状態になります。

クイックビューの時間を設定する（クイックビュー）

クイックビューの時間を0.5秒、1秒、2秒、3秒、4秒、5秒、または、表示しない（オフ）から選べます。

1 「撮影機能」メニューの「クイックビュー」を選びます。

2 十字キー（◀▶）で表示時間を切り替えます。

3 OKボタンを押します。

撮影ができる状態になります。

シャープネスを設定する（シャープネス）

画像の輪郭をシャープにまたはソフトにします。

1 「撮影機能」メニューの「シャープネス」を選びます。

2 十字キー（◀▶）で「標準」「ソフト」「ハード」を切り替えます。

3 OKボタンを押します。

撮影ができる状態になります。

彩度を設定する（彩度）

1 「撮影機能」メニューの「彩度」を選びます。

2 十字キー（◀▶）で「標準」「高」「低」を切り替えます。

3 OKボタンを押します。

撮影ができる状態になります。

コントラストを設定する（コントラスト）

1 「撮影機能」メニューの「コントラスト」を選びます。

2 十字キー（◀▶）で「標準」「高」「低」を切り替えます。

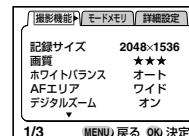
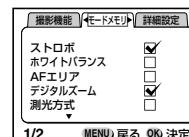
3 OKボタンを押します。

撮影ができる状態になります。

設定を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたときに、撮影のために設定した値をメモリ（保存）するかどうかを選びます。☑（オン）を選ぶと、電源オフ直前の状態をメモリします。□（オフ）を選ぶと、初期状態に戻ります。

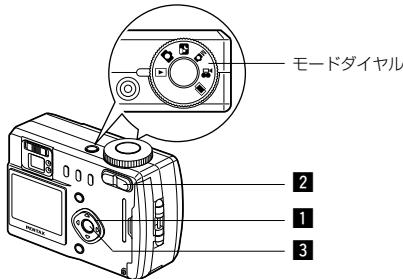
項目	内容	初期値
ストロボ	ϟ ボタンで設定した値を保存します。	☑
ホワイトバランス	「設定機能」メニューの「ホワイトバランス」で設定した値を保存します。	□
AFエリア	「設定機能」メニューの「AFエリア」で設定した値を保存します。	□
デジタルズーム	「設定機能」メニューの「デジタルズーム」で設定した値を保存します。	☑
測光方式	「設定機能」メニューの「測光方式」で設定した値を保存します。	□
ISO感度	「設定機能」メニューの「ISO感度」で設定した値を保存します。	□
MF位置	マニュアルフォーカスで設定したピント位置を保存し、次回マニュアルフォーカスを選択時に、保存されたピント位置を再現します。	□
DISPLAY	液晶パネルの表示モードを保存します。	□
ファイルNo	ファイル番号を保存します。CFカードを入れ替えた場合にも連番でファイル名を作成します。	☑

1 **撮影モードでMENUボタンを押します。**

2 **十字キー（▶）を押します。**
「モードメモリ」メニューが表示されます。

3 **十字キー（▲▼）で項目を選びます。**

4 **十字キー（◀▶）で☑と□を切り替えます。**

5 **OKボタンを押します。**
撮影ができる状態になります。

撮影

カメラで再生する

静止画を再生する

操作方法は「取った画像を一枚ずつ再生する」（p.21）をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を4倍まで拡大表示できます。拡大中は液晶モニタにガイドが表示されます。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）で拡大したい画像を選びます。

2 ズームボタンの ♠ を押します。

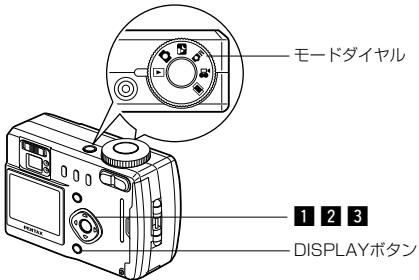
画像が大きくなります(1倍〜4倍)。

●拡大表示中にできる操作

十字キー	拡大位置を移動する
ズームボタン[♠♠♠]	画像を小さくする
DISPLAYボタン	ガイドをオン／オフする

3 OKボタンを押します。

拡大表示が終了します。

動画は拡大再生できません。

動画を再生する

動画を再生します。再生中は液晶モニタにガイドが表示されます。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）で再生したい動画を選びます。

2 十字キー（▲）を押します。

再生が開始します。

●再生中にできる操作

十字キー（◀）	逆向方向に再生する
十字キー（▶）	順方向に再生する
十字キー（▲）	一時停止する
DISPLAYボタン	DISPLAYモードを切り替える

●一時停止中にできる操作

十字キー（▶）	コマ送りする
十字キー（◀）	コマ戻しする
十字キー（▲）	一時停止を解除する
DISPLAYボタン	DISPLAYモードを切り替える

3 十字キー（▼）押します。

再生が終了します。

注意 動画は拡大して再生することはできません。

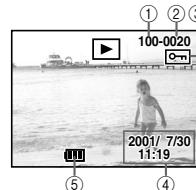
再生・消去

撮影時の情報を表示する（DISPLAYモード）

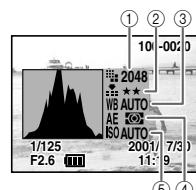
撮影時の情報を液晶モニタにオーバーレイ表示できます。DISPLAYボタンで表示される情報を切り替えます。

DISPLAYオン

撮影時の情報を表示します。

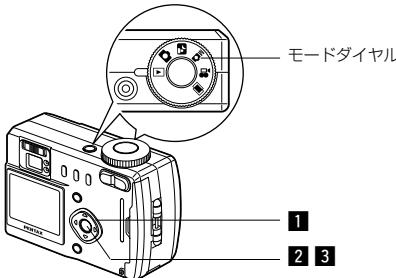
①フォルダ名　②ファイル名
③プロテクトマーク
④撮影日時　⑤バッテリーマーク

ヒストグラム表示

画像の明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

①記録サイズ　②画質
③ホワイトバランス
④測光方式　⑤ISO感度

DISPLAYオフ

撮影時の情報を表示しません。

DISPLAYオン

再生・消去

9画像ずつ再生する

画像を9画像まで同時に表示できます。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）で画像を選びます。

2 OKボタンを押します。

選択中の画像を中央にして、9画像が表示されます。

十字キー（▲ ▼ ◀ ▶）で画像が選べます。

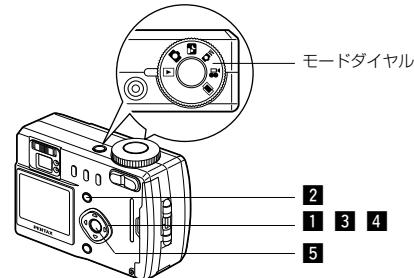
左列の画像を選択しているときに十字キー（◀）を押すと、前の9画像が表示されます。右列の画像を選択しているときに十字キー（▶）を押すと、次の9画像が表示されます。

選択画像

3 OKボタンを押します。

選択した画像の1枚表示に戻ります。

・動画は、1コマ目の画像が表示されます。

再生・消去

スライドショウで連続再生する

CFカードに保存された全画像を連続して再生します。

1 モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）でスライドショウを開始する画像を選びます。

2 MENUボタンを押します。

「再生機能」メニューが表示されます。

3 十字キー（▼）で「スライドショウ」を選びます。

4 十字キー（◀ ▶）で再生間隔を切り替えます。

再生機能 | 詳細設定
スライドショウ ◀ 3秒間隔 ▶
アラーム オン
1/1 MENU 戻る OK 決定

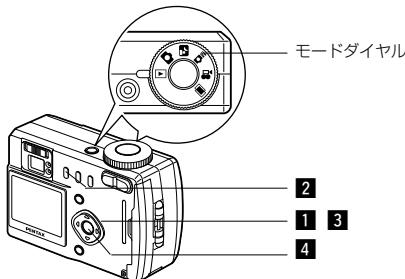
5 OKボタンを押します。

設定した間隔で再生が開始します。

6 ボタン（シャッターボタンを除く）を押します。

スライドショウが停止します。

・スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで繰り返します。
・動画は設定した再生間隔にかかわらず一回再生されます。

再生・消去

画像を消去する

1画像ずつ消去する

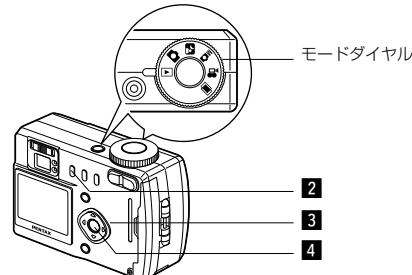
1 モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）で消去したい画像を選びます。

2 🗑 ボタンを押します。

「消去」メニューが表示されます。

3 十字キー（▲）で「消去」を選びます。

4 OKボタンを押します。

この機能はクイックビュー（p.19）、ワンタッチビュー（p.20）からでも行えます。

まとめて消去する

CFカードに保存された全画像を消去します。

・消去した画像は復元ができません。
・プロテクトされている画像は消去できません。

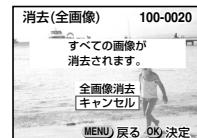
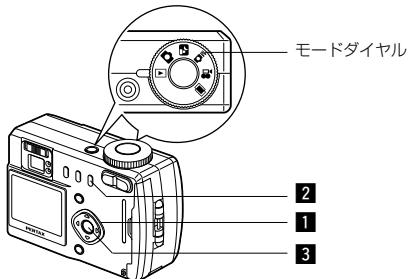
1 モードダイヤルを ▶ に合わせます。

2 🗑 ボタンを2回押します。

「消去（全画像）」メニューが表示されます。

3 十字キー（▲）で「全画像消去」を選びます。

4 OKボタンを押します。

再生・消去

消去できないようにする（プロテクト）

画像を誤って消去しないようにプロテクトすることができます。

1 **モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）でプロテクトする画像を選びます。**

2 **O-π ボタンを押します。**

「プロテクト」メニューが表示されます。

3 **OKボタンを押します。**

全画像をプロテクトするには

全画像をプロテクトすることができます。

1 **モードダイヤルを ▶ に合わせます。**

2 **O-π ボタンを2回押します。**

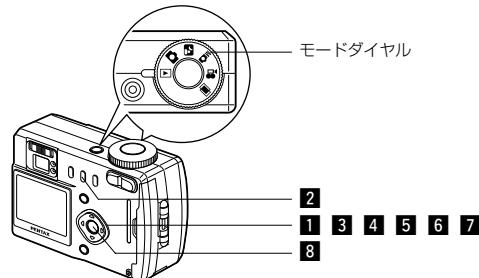
「プロテクト（全画像）」メニューが表示されます。

3 **十字キー（▲）で「プロテクト」を選びます。**

4 **OKボタンを押します。**

再生・消去

プリントサービスの設定をする（DPOF）

CFカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンタやラボプリントサービスでプリントできます。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。

●枚数

プリントする枚数を設定します。99枚までの指定ができます。

●日付

プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

●トリミング

撮影時と異なるサイズでプリントできます。

1 **モードダイヤルを ▶ に合わせ、十字キー（◀ ▶）でプリント指定する画像を選びます。**

2 **DPOFボタンを押します。**

「DPOF」メニューが表示されます。

3 **十字キー（◀ ▶）でプリント枚数を切り替えます。**

4 **十字キー（▼）を押します。**

選択枠が「日付」に移動します。

5 **十字キー（◀ ▶）で日付のオンとオフを切り替えます。**

オン　プリントに日付を入れます。
オフ　プリントに日付を入れません。

再生・消去

6 **十字キー（▼）を押します。**

選択枠が「トリミング」に移動します。

7 **プリントサイズを変更します。**

十字キー（▶）を押すとトリミング画面が表示されます。

●トリミング画面でできる操作

DISPLAYボタン	縦横を切り替える
ズームボタン	画像サイズを変える
十字キー	トリミング位置を上下左右に移動する
OKボタン	メニュー画面に戻る

8 **OKボタンを押します。**

設定した値でプリントができます。

全画像設定する

1 **モードダイヤルを▶に合わせ、DPOFボタンを2回押します。**

「DPOF（全画像）」メニューが表示されます。

2 **十字キー（◀ ▶）でプリント枚数を切り替えます。**

99枚までの指定ができます。

3 **十字キー（▼）を押します。**

選択枠が「日付」に移動します。

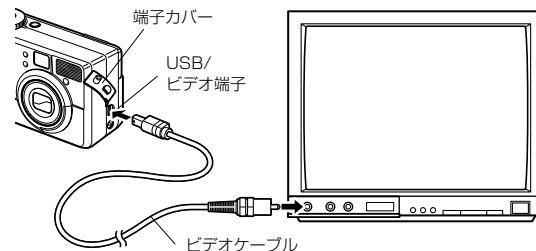
4 **十字キー（◀ ▶）でオンとオフを切り替えます。**

オン　プリントに日付を入れます。
オフ　プリントに日付を入れません。

5 **OKボタンを押します。**

設定した値でプリントができます。

・全画像設定ではトリミング指定はできません。
・全画像設定を行うと、1画像ずつの設定はキャンセルされます。
・動画は設定できません。

テレビで画像を見る

ビデオケーブルを使用すると、テレビをモニタにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとカメラの電源を必ずオフにしてください。

1 **端子カバーを開き、ビデオケーブルを接続します。**

2 **ビデオケーブルのもう一方の端子を、テレビの映像入力端子に接続します。**

3 **テレビとカメラの電源を入れます。**

出力方式を切り替える ☞ p.76

テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。長時間使用するときは、ACアダプタのご使用をおすすめします。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

Windowsパソコンで画像を見る

USBケーブルと付属のソフトウェア（S-SW2）を使用すると、カメラで撮影した画像をパソコンで編集・プリントできます。

添付ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROMには次のようなソフトウェアが含まれます。
・USBドライバ
・画像閲覧用ソフト（ACDSee™ 3.1）

システム環境

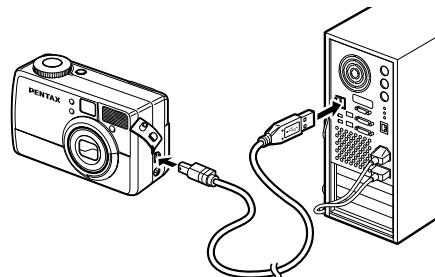
・OS　Windows 98/2000/Me
・CPU　Pentium以降を推奨
・メモリ　32MB以上
・ハードディスクの空容量　15MB以上
・USBポートが標準で搭載されていること

Windows95では、ご使用になれません。

ソフトウェアをインストールする

必要なソフトウェアをインストールします。

USBドライバをインストールする

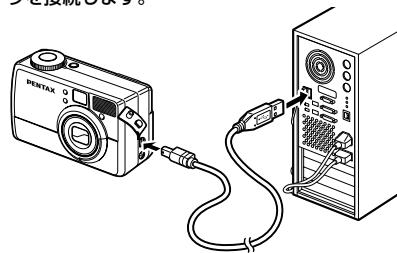
1 パソコンの電源を入れます。
2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットします。
3 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続します。

4 カメラの電源をオンにします。
「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。
5 「次へ」をクリックします。
6 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。
7 「CD-ROMドライブ」にチェックマークがついていることを確認し、「次へ」をクリックします。
「PENTAX USB DISK Device」が表示されます。
8 「次へ」をクリックします。
「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されます。
9 「完了」をクリックします。

ACDSee™をインストールする

ACDSee™をインストールすると、撮影した画像をパソコンで見ることができます。

1 パソコンの電源を入れます。
2 CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
3 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
4 CD-ROMドライブをダブルクリックします。
5 「Japanese」をダブルクリックします。
6 「setup.exe」をダブルクリックします。
セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストールが完了したらWindowsを再起動してください。

カメラとパソコンを接続する

1 パソコンの電源を入れます。
2 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続します。

3 カメラの電源をオンにします。
カメラは「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。

この状態で、画像を見たり、印刷したりできますが、写真のデータはカメラ内のCFカード内にありますので、CFカード内の写真データを他のメディアに保存したい場合は、パソコンの使用説明書を参考にエクスプローラー等を利用してファイルをコピーあるいは移動させてください。編集する場合は、パソコン側へ画像をコピーしてから行ってください。

パソコンで画像を見る

1 デスクトップの「ACDSee™」アイコンをダブルクリックします。
2 見たい画像を選びます。
カメラの画像は「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「Dcim」→「×××pentx」(×××は、3桁の数字）フォルダーの中にあります。

パソコンからカメラを取り外す

1 デスクトップ右下のステータスバーの（ホットプラグアイコン）をダブルクリックします。
「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。
2 「USBディスク」が選択されていることを確認して「停止」をクリックします。
「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。
3 「USBディスク」が選択されていることを確認して「OK」をクリックします。
メッセージが表示されます。
4 「OK」をクリックします。
5 USBケーブルをパソコンとカメラから取り外します。

Windows98/Meでは、ホットプラグアイコンはありません。カメラを外すときは、カメラの電源を切り、そのまま、USBケーブルを外してください。

Macintoshで画像を見る

USBケーブルと付属のソフトウェア（S-SW2）を使用すると、カメラで撮影した画像をパソコンで編集・プリントできます。

添付ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROMには次のようなソフトウェアが含まれます。
・USBドライバ
・画像閲覧用ソフト（ACDSee™）

システム環境

・OS　MacOS8.6以上（QuickTime4.0以降が必要）
・CPU　PowerMac 266MHz以上
・メモリ　8MB以上
・ハードディスクの空容量　6MB以上
・USBポートが標準で搭載されていること

ソフトウェアをインストールする

必要なソフトウェアをインストールします。

USBドライバをインストールする

1. Macintoshの電源を入れます。
2. CD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットします。
3. Macintoshのシステムフォルダー内にある「機能拡張」フォルダーへ、CD-ROMから次の2つのファイルをコピーします。
   ・PENTAX-USB Storage Driver
   ・PENTAX-USB Storage Shim
4. Macintoshを再起動します。

Optio 330はUSBマスストレージクラスに対応しています。MacOS Xでは、付属のUSBドライバをインストールする必要はありません。

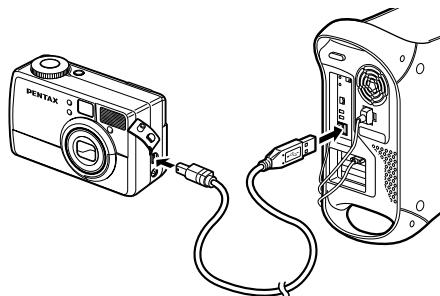
ACDSee™をインストールする

ACDSee™をインストールすると、撮影した画像をMacintoshで見ることができます。

1. Macintoshの電源を入れます。
2. CD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットします。
3. CD-ROM（S-SW2）上の「Japanese」をダブルクリックします。
4. 画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストールを行ないます。

カメラとMacintoshを接続する

1 Macintoshの電源を入れます。

2 カメラの電源をオフにして、USBケーブルでMacintoshとカメラを接続します。

3 カメラの電源をオンにします。

カメラはデスクトップ上の「名称未設定」として認識されます。フォルダー名は変更ができます。

この状態で、画像を見たり、印刷したりできますが、写真のデータはカメラ内のCFカード内にありますので、CFカード内の写真データを他のメディアに保存したい場合は、Macintoshの使用説明書を参考にファイルをコピーあるいは移動させてください。編集する場合は、Macintoshへ画像をコピーしてから行ってください。

Macintoshで画像を見る

1 ハードドライブ上の「ACDSee™」フォルダーをクリックします。

2 「ACDSee™」のプログラムアイコンをダブルクリックします。

3 見たい画像を選びます。

カメラの画像はデスクトップ上の「名称未定義」→「Dcim」→「×××pentx」（×××は、3桁の数字）フォルダーの中にあります。

Macintoshからカメラを取り外す

1 デスクトップ上の「名称未設定」をごみ箱にドラッグします。

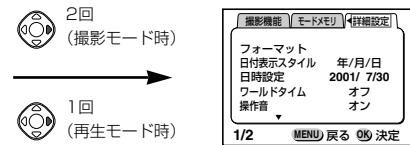
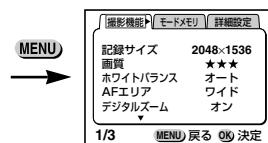
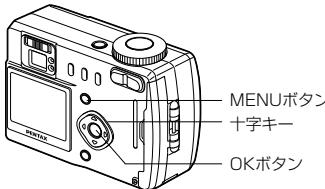
2 USBケーブルをMacintoshとカメラから取り外します。

設定

カメラの設定をする

「詳細設定」メニューの呼び出しかた

2回
（撮影モード時）

1回
（再生モード時）

CFカードをフォーマットする

CFカードに保存されているすべてのデータを消去します。

・CFカードのフォーマット中は、CFカードカバーを開けないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
・この操作を行なうと、プロテクトされたデータも消去されます。ご注意ください。

1 「詳細設定」メニューの「フォーマット」を選びます。

2 十字キー（▶）を押します。

フォーマット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選びます。

4 OKボタンを押します。

フォーマットが開始します。フォーマットが終わると撮影または再生できる状態になります。

日付の表示スタイルを設定する

カメラに表示する日付の表示形式を設定します。
「年／月／日」、「月／日／年」、「日／月／年」から選べます。

1 「詳細設定」メニューの「日付表示スタイル」を選びます。

2 十字キー（◀ ▶）で日付スタイルを切り替えます。

3 OKボタンを押します。

設定した日付表示で撮影または再生できる状態になります。

時刻の表示形式は「日時設定」で設定します。

日付/時刻を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。

1 「詳細設定」メニューの「日時設定」を選びます。

2 十字キー（▶）を押します。

日時設定画面が表示されます。

設定方法は「初期設定をする」（p.16）をご覧ください。

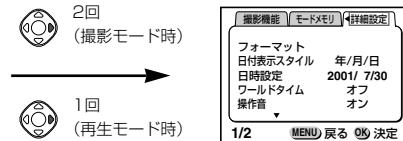
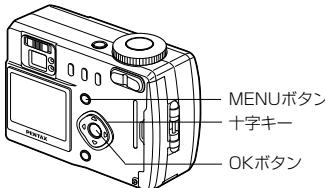
「詳細設定」メニューの呼び出しかた

MENUボタン
十字キー
OKボタン

MENU →

2回
（撮影モード時）

1回
（再生モード時）

撮影機能 モードメモリ 詳細設定
フォーマット
日付表示スタイル 年/月/日
日時設定 2001/ 7/30
ワールドタイム オフ
操作音 オン
1/2 MENU 戻る OK 決定

ワールドタイムを設定する

「初期設定をする」（p.16）で設定した日時は、「ホームタイム」として設定されます。
撮影時および再生時に、「ホームタイム」以外の都市の日時（ワールドタイム）を表示できます。

1 「詳細設定」メニューの「ワールドタイム」を選びます。

2 十字キー（▶）を押します。

ワールドタイム設定画面が表示されます。

3 十字キー（◀ ▶）で ☑ と □ を切り替えます。

☑ ワールドタイムで選択した国の時刻表示になります。
□ ホームタイムで選択した国の時刻表示になります。

4 十字キー（▼）を押します。

選択枠が「ワールドタイム」に移動します。

5 十字キー（◀ ▶）でワールドタイムの都市を選び、十字キー（▼）を押します。

6 十字キー（◀ ▶）で「夏時間」の ☑ と □ を切り替え、十字キー（▼）を押します。

選択枠が「ホームタイム」に移動します。

十字キー（◀ ▶）でホームタイムの都市や、「夏時間」のオン／オフを変更できます。

7 OKボタンを押します。

設定した都市の日時で撮影または再生できる状態になります。

メモ

指定できる都市および都市の記号名については、p.81をご覧ください。

操作音を調整する

操作音や動作音をオン／オフできます。

1 「詳細設定」メニューの「操作音」を選びます。

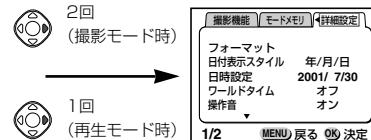
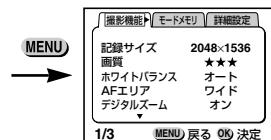
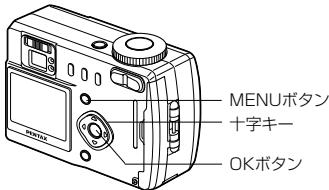
2 十字キー（◀ ▶）でオンとオフを切り替えます。

3 OKボタンを押します。

撮影または再生できる状態になります。

MENUボタン
十字キー
OKボタン

MENU

撮影機能 モードメモリ 詳細設定
記録サイズ 2048×1536
画質 ★★★
ホワイトバランス オート
AFエリア ワイド
デジタルズーム オン
1/3 MENU 戻る OK 決定

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1 **「詳細設定」メニューの「Language/言語」を選びます。**
2 **十字キー（◀ ▶）で言語を切り替えます。**
3 **OKボタンを押します。**
撮影または再生できる状態になります。

ビデオ出力方式を変更する

テレビをモニタにして撮影や再生をするときの出力方式をNTSC方式とPAL方式から選べます。

1 **「詳細設定」メニューの「ビデオ出力」を選びます。**
2 **十字キー（◀ ▶）でビデオ出力方式を切り替えます。**
3 **OKボタンを押します。**
撮影または再生できる状態になります。

節電機能を設定する

一定の時間操作をしないときに、自動的に液晶モニタが消えるように設定できます。

1 **「詳細設定」メニューの「スリープ」を選びます。**
2 **十字キー（◀ ▶）で「1分」「2分」「オフ」「30秒」を切り替えます。**
3 **OKボタンを押します。**
撮影または再生できる状態になります。

・再生モード中は、この機能は働きません。
・スライドショウで再生しているときや、USB接続をしているときは、この機能は働きません。

オートパワーオフを設定する

撮影モードで一定の時間操作をしないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 **「詳細設定」メニューの「オートパワーオフ」を選びます。**
2 **十字キー（◀ ▶）で「3分」「5分」「オフ」を切り替えます。**
3 **OKボタンを押します。**
撮影または再生できる状態になります。

スライドショウで再生しているときや、USB接続をしているときは、この機能は働きません。

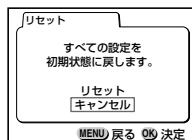
設定を初期値に戻す（リセット）

日時設定、Language/言語、ホームタイム、アラーム、ビデオ出力、日時表示スタイル以外の設定内容をリセットします。

1 「詳細設定」メニューの「リセット」を選びます。

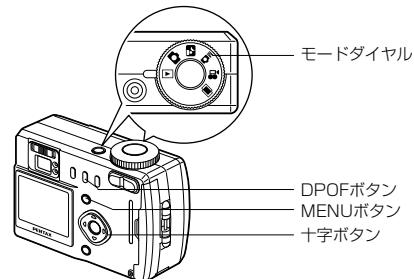
2 十字キー（▶）を押します。

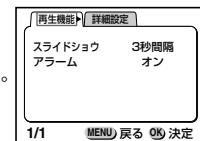
リセット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「リセット」を選びます。

4 OKボタンを押します。

撮影または再生できる状態になります。

決まった時刻にアラームを鳴らす

指定した時刻にアラームを鳴らし、指定した画像を表示できます。

アラームを確認する

1 再生モードでMENUボタンを押します。

「再生機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▼）を2回押して、「アラーム」を選びます。

3 十字キー（▶）を押します。

アラーム一覧が表示されます。

オンのアラームには、チェックマークが付いています。

4 OKボタンを2回押します。

オンのアラームがあるときは、電源がオフになり、アラームがセットされます。

アラームを設定する

1 再生モードでMENUボタンを押します。

「再生機能」メニューが表示されます。

2 十字キー（▼）で「アラーム」を選びます。

3 十字キー（▶）を押します。

アラーム一覧が表示されます。

4 十字キー（▲ ▼）で1〜3を選びます。

5 十字キー（▶）を押します。

動作モードと時刻を設定する画面が表示されます。

十字キー（◀ ▶）
項目を移動します。
十字キー（▲ ▼）
設定値を切り替えます。

6 DPOFボタンを押して、アラーム時に表示する画像を選びます。

CFカードに記録されている画像が表示されます。

十字キー（◀ ▶）で画像を選び、OKボタンを押します。

7 OKボタンを3回押します。

電源がオフになります。

アラームを停止する

電源をオフにしているときに指定した時刻になると、アラームが1分間鳴ります。
鳴り終わると自動的に電源がオフになります。

ボタン（ズームボタンを除く）を押してアラームを停止することができます。

アラームは電源がオンのときには鳴りません。

都市名一覧

PPG	パゴパゴ	THR	テヘラン
HNL	ホノルル	DXB	ドバイ
ANC	アンカレジ	KHI	カラチ
YVR	バンクーバー	KBL	カブール
SFO	サンフランシスコ	MLE	マーレ
LAX	ロサンゼルス	DEL	デリー
YYC	カルガリー	CMB	コロンボ
DEN	デンバー	KTM	カトマンズ
MEX	メキシコシティ	DAC	ダッカ
CHI	シカゴ	RGN	ヤンゴン
MIA	マイアミ	BKK	バンコク
YTO	トロント	KUL	クアラルンプール
NYC	ニューヨーク	VTE	ビエンチャン
SCL	サンティアゴ	SIN	シンガポール
CCS	カラカス	PNH	プノンペン
YHZ	ハリファックス	SGN	ホーチミン
BUE	ブエノスアイレス	JKT	ジャカルタ
SAO	サンパウロ	HKG	香港
RIO	リオデジャネイロ	PER	パース
MAD	マドリッド	BJS	北京
LON	ロンドン	SHA	上海
PAR	パリ	MNL	マニラ
MIL	ミラノ	TPE	台北
ROM	ローマ	SEL	ソウル
BER	ベルリン	ADL	アデレード
JNB	ヨハネスブルグ	TYO	東京
IST	イスタンブール	GUM	グァム
CAI	カイロ	SYD	シドニー
JRS	エルサレム	NOU	ヌーメア
MOW	モスクワ	WLG	ウェリントン
JED	ジッダ	AKL	オークランド

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

圧縮に失敗しました	1.6MBを超えた容量の画像を撮影しようとしています。
ベースとなる画像がありません	画像が一枚も保存されていないか、保存されている画像が動画だけのときに、多重露出モードで撮影しようとしています。
カード空き容量なし	CFカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。新しいCFカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.14、58) 画質／サイズを変えると保存できる可能性があります。(p.44、45)
画像がありません	CFカードに再生できる画像が保存されていません。
この画像を表示できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。
この画像はプロテクトされています。	プロテクトされている画像を消去しようとしています。(p.60)
カードが入っていません	カメラにCFカードがセットされていません。(p.14)
バッテリ容量が無くなりました	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。(p.10、11)
カードが異常です	CFカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合があります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないCFカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたCFカードがセットされています。(p.72)
画像をカードに記録中です	画像をCFカードに記録しています。

DPOF設定をカードに記録中です	DPOF設定をCFカードに記録しています。
映像をカードに記録中です	動画をCFカードに記録しています。
プロテクトの設定を変更中です	画像のプロテクト設定を変更しています。
フォーマット中	CFカードをフォーマット中です。
画像を消去しています	画像を消去しています。
アラームを設定しました	アラームの設定をオンにしました。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいCFカードをセットするか、CFカードをフォーマットしてください。(p.72)
この画像は多重露出できません	多重露出モードで、ベースにできない画像をベースにしようとしています。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが入っていない	バッテリーが入っているか確認し、入っていなければ入れてください。
	CFカードカバーが開いている	CFカードカバーを閉じてください。
	バッテリーの入れかたを間違えている	バッテリーの挿入方向を確認してください。バッテリーのラベルをカメラの背面側に向けて入れてください。（p.11）
	バッテリーの残量がない	充電済みのバッテリーをセットしてください。または、ACアダプタを使用してください。
液晶モニタに何も表示されない	液晶モニタオフにセットされている	DISPLAYボタンを押すと、液晶モニタがオンになります。（p.30、55）
	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、液晶モニタは常にオフになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中の屋外での撮影は、液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	再生モードにセットされている	モードダイヤルを のいずれかにセットしてください。
	ストロボが充電中	ストロボランプが赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了すると赤色に点灯します。
	CFカードに空き容量がない	空き容量のあるCFカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.14、58）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。一旦撮りたいものと同じ距離にあるピントの合いやすいものにピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニタ中央の四角枠内（AFエリア）に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものが、AFエリアにない場合は、一旦撮りたいものをAFエリアに入れて、ピントを固定（シャッターボタン半押し）したまま、撮りたい構図に変えてシャッターを切ります。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを にセットしてください。（p.41）
	フォーカスモードが になっている	フォーカスモードが にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
	マニュアルフォーカスモードになっている	マニュアルフォーカスモードに設定されているときは、十字ボタン（▲ ▼）でピントを調整してください。（p.41）
ファインダーがはっきり見えない	視度が合っていない	撮影する人の視力に、カメラのファインダーの視度が合っていません。視度調整レバーで視度の調整を行なってください。（p.39）

	原因	対処方法
撮影した写真が暗い	撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。モードにセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。(p.31)
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	オートまたは に設定してください。(p.43)
	撮影モードが にセットされているか、連続撮影、または遠景モードに設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。

別売りアクセサリー一覧

本機には、別売りアクセサリーとして以下の製品が用意されています。

ACアダプタキット（K-AC2J）

バッテリー充電器キット（K-BC2J）

充電式リチウムイオンバッテリー（D-LI2）

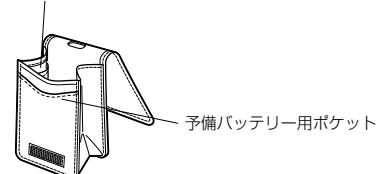
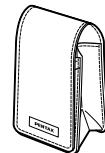
ペンタックスリモートコントロールF

USBケーブル（I-USB2）

ビデオケーブル（I-VC2）

ソフトケース

付録

付録

主な仕様

項目	仕様
型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ
撮像素子	総画素数334万画素（有効画素数324万画素）、原色フィルタ／インターライントランスファー1/1.8型CCD
記録画素数	2048 × 1536 ピクセル、1024 × 768ピクセル、 640 × 480ピクセル
感度	オート、マニュアル（ISO100相当、ISO200相当）
記録方式	静止画　JPEG（Exif2.1）、DCF準拠、DPOF対応 動　画　AVI（Open PML Motion JPEG準拠）
画質	S.ファイン、ファイン、エコノミー
記録媒体	コンパクトフラッシュ（CF）Type I
撮影枚数	16 MB　CFカード使用時（下表）

画質	S.ファイン	ファイン	エコノミー
2048 × 1536	約10枚	約13枚	約26枚
1024 × 768	約40枚	約53枚	約94枚
640 × 480	約106枚	約160枚	約228枚

項目	仕様
ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル
カラーモード	カラー、白黒、セピア
レンズ	焦点距離　7.6 mm〜22.8 mm（35 mmフィルム換算：37〜111 mm相当） F値　F2.6〜F4.8 レンズ構成　6群7枚（両面非球面レンズ2枚使用） ズーム方式　電動式 撮影範囲　139mm×104mmを画面一杯に撮影可能（ワイド端でマクロモードおよびマニュアルフォーカス時） レンズバリア　電動式
デジタルズーム	撮影時：最大2倍 再生時：最大4倍
ファインダー	方式　実像式ズームファインダー 倍率　ワイド 0.41×、テレ 1.15× 視度調整　-3m⁻¹〜+1m⁻¹（毎メートル）（3 mにおいて） ファインダー内表示　オートフォーカス枠
液晶モニタ	1.6型TFTカラーLCD（バックライト付）
オートフォーカス	方式　撮影素子によるTTLコントラスト検出方式 撮影範囲（レンズ前面から）　ノーマル：0.4 m〜∞（ズーム全域） マクロ：0.14 m〜0.5 m（ワイド端） 遠景：∞ フォーカスロック　シャッターボタン半押しによる
マニュアルフォーカス	0.4 m〜∞（ワイド端時は、0.14m〜∞）
露出機構	測光方式　撮像素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット） 露出モード　オート、夜景、マニュアル、動画、多重露出 露出補正　±2EV（1/3EVステップで設定可能） 動画　撮影時間約1秒〜約30秒
シャッター	型式　メカニカル併用電子シャッター 速度　約1/2000秒〜約15秒
ストロボ	型式　赤目軽減機能付オートストロボ 発光モード　オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減 撮影範囲　ワイド　約0.14 m〜約3.7 m（ISO: オート） テレ　約0.4 m〜約2.0 m（ISO: オート）
ドライブモード	1コマ撮影、連続撮影、セルフタイマー撮影、リモコン撮影
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒
リモコン	ペンタックスリモートコントロールF（別売）、 受信より約3秒後に露出開始
時計機能	ワールドタイム設定　世界62都市に対応（28タイムゾーン） アラーム　選択した画像を指定時間にアラームと同時に表示（最大3メモリー）
電源	専用充電式リチウムイオンバッテリー、ACアダプタキット（別売）
入出力ポート	USB／ビデオ端子（PC通信方式 USB1.1）、外部電源端子
大きさ	92（幅）× 59（高）× 31（厚）mm （最厚部 34.5mm）
質量	205 g（バッテリー、CFカード含まず）
付属品	充電式リチウムイオンバッテリー、バッテリー充電器キット、 USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、ビデオケーブル、 ストラップ、使用説明書

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている最寄りの当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送りください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店印および購入年月日が記入されているもの]をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤の入った場所での保管等）や手入れの不備（泥・砂・ホコリ・水かぶり・ショック等）による故障。
   - 保証書の添付のない場合。
   - 販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以後の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外旅行をされる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社サービス窓口でお持ちの保証書と交換に発行しております。[保証期間のみ有効]

メモ

●お問い合せは次のサービス窓口へ

デジタル・カスタマーサポートセンター
03(3960)0887　URL: www.digital.pentax.co.jp

ペンタックスフォーラム　03(3348)2941(代)
〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル1階（私書箱240号）
東京サービスセンター　03(3571)5621(代)
〒104-0061 東京都中央区銀座西8-10（土橋交差点交番並び）
札幌サービスセンター　011(612)3231(代)
〒060-0010 北海道札幌市中央区北10条西18-36　ペンタックス札幌ビル4階
仙台サービスセンター　022(371)6663(代)
〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央1-7-1　千代田生命泉中央駅ビル5階
横浜サービスセンター　045(232)5281(代)
〒231-0047 神奈川県横浜市中区羽衣町2-7-10　日本生命関内ビル8階
名古屋サービスセンター　052(962)5331(代)
〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉1-19-8
大阪サービスセンター　06(6271)7996(代)
〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-17-9　パールビル2階
広島サービスセンター　082(234)5681(代)
〒730-0851 広島県広島市中区榎町2-15　榎町ビュロー3階
福岡サービスセンター　092(281)6868(代)
〒810-0802 福岡県福岡市博多区中洲中島町3-8　パールビル1階
お客様相談室　03(3572)6479
〒104-0061 東京都中央区銀座西8-10（土橋交差点交番並び）

※日曜・祝日および土曜日は原則として休みます。
ただし、年末年始を除きペンタックスフォーラムは年中無休です。

ペンタックスファミリーのご案内

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブです。
年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理料金の会員割引など様々な特典があります。
お申し込み・お問い合せは下記ペンタックスファミリー事務局まで。
〒100-0014　東京都千代田区永田町1-11-1
三宅坂ビル3階　03(3580)0336

旭光学工業株式会社
〒174-8639　東京都板橋区前野町2-36-9
ペンタックス販売株式会社
〒100-0014　東京都千代田区永田町1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

56678　02-200107